

東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所
「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-23

学校外の学びの状況



習い事・学習塾に関するデータ集



2024年12月03日(火)

ベネッセ教育総合研究所



本資料の内容

2

調査概要【p.3】

解説—子どもの学校外の学びの状況【p.4】

1. 習い事の実態【p.5】

- ①経年での比較【p.5】
- ②学年による違い【p.6】
- ③習い事の種類（小学生）【p.7】
- ④習い事の種類（中高生）【p.8】
- ⑤習い事の種類（性別）【p.9】
- ⑥男女、地域による違い【p.10】
- ⑦公私、世帯年収による違い【p.11】

2. 学習塾の実態【p.12】

- ①経年での変化【p.12】
- ②学年による違い【p.13】
- ③学習塾の種類（小学生）【p.14】
- ④学習塾の種類（中高生）【p.15】
- ⑤男女、地域による違い【p.16】
- ⑥公私、世帯年収による違い【p.17】

3. 教育費の状況【p.18】

- ①経年での比較【p.18】
- ②経年での変化（世帯年収別、小学生）【p.19】
- ③経年での変化（世帯年収別、中高生）【p.20】
- ④学年による違い【p.21】
- ⑤男女、地域による違い【p.22】
- ⑥公私、世帯年収による違い【p.23】



調査概要

3

●使用したデータ

「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015～23年（東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所による共同実施）。

●子どもの生活と学びに関する親子調査

【調査テーマ】子どもの生活と学習に関する意識と実態（子ども調査）/保護者の子育て・教育に関する意識と実態（保護者調査）……同一の親子を対象に2015年から継続して追跡する縦断調査

【調査時期】各年7～9月

【調査方法】調査依頼は各回とも郵送で実施、回収は2015年郵送・WEB併用、16～20年郵送、21年郵送・WEB併用、22～23年WEBによる

【調査対象】各回とも約2万組の調査モニターに協力を依頼、発送数・回収数・回収率は以下の通り

	全体			小1～3生			小4～6生			中学生			高校生		
	発送数	回収数	回収率	発送数	回収数	回収率	発送数	回収数	回収率	発送数	回収数	回収率	発送数	回収数	回収率
2015年	21,569	16,574	76.8	5,504	4,690	85.2	5,080	3,950	77.8	5,379	4,051	75.3	5,606	3,883	69.2
2016年	21,485	15,849	73.8	5,617	4,915	87.5	5,234	3,797	72.5	5,225	3,706	70.9	5,409	3,425	63.3
2017年	19,136	15,307	80.0	5,700	5,167	90.6	4,662	3,643	78.1	4,312	3,311	76.8	4,462	3,186	71.4
2018年	18,217	14,424	79.2	5,408	4,928	91.1	4,634	3,616	78.0	3,977	2,967	74.6	4,198	2,913	69.4
2019年	20,056	15,311	76.3	5,879	5,175	88.0	5,251	4,071	77.5	4,497	3,168	70.4	4,429	2,897	65.4
2020年	20,413	15,656	76.7	5,921	5,127	86.6	5,639	4,407	78.2	4,595	3,323	72.3	4,258	2,799	65.7
2021年	20,471	15,596	76.2	5,829	5,066	86.9	5,704	4,430	77.7	4,812	3,432	71.3	4,126	2,668	64.7
2022年	20,951	13,398	63.9	5,844	4,716	80.7	5,737	3,664	63.9	5,058	2,922	57.8	4,312	2,096	48.6
2023年	21,525	13,201	61.3	5,743	4,583	79.8	5,869	3,489	59.4	5,462	3,070	56.2	4,451	2,059	46.3

詳細は <https://berd.benesse.jp/special/childedu/>



解説—子どもの学校外の学びの状況

● 分析の背景—習い事や学習塾などの「学校外の学び」の状況をとらえる

今回は、東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所が共同で実施した「子どもの生活と学びに関する親子調査」の2015年から2023年までのデータを用いて、子どもたちの学校外での学びの状況を明らかにします。日本では、多くの子どもが学校での学びに加え、放課後や休日に習い事や学習塾などで学んでいます。しかし、それらの利用が経年でどのように変化しているのか、またどのような属性の子どもがより多く利用しているのかを示すデータはあまり存在しません。データからは「教育格差」の実態を裏づける結果も明らかになっています。こうした状況の中で、より多くの子どもの学びを支えるにはどうしたらよいのかを社会全体で考えるために、本データをお役立ていただけると幸いです。

● 習い事の実態—小学生は8割、中学生は5割、高校生は2割が習い事をしている

本調査では、小学生の8割、中学生の5割、高校生の2割が習い事をしていることがわかりました。経年でみると、小学生はコロナ禍でわずかに比率が低下していますが、中学生は逆に増加しています【p.5】。学年別にみると、小6から中1（小中接続）および中3から高1（中高接続）で習い事率が大きく低下することがわかりました【p.6】。小学生に人気の習い事をみると、運動系では「スイミング」、文化系では「楽器・音楽教室」や「英会話・英語教室」が高い割合を占めています【p.7】。一方、中学生になると多くの習い事の比率が下がるなかで、「楽器・音楽教室」や「英会話・英語教室」は相対的に高い比率で推移しています【p.8】。習い事の内容については男女によって違いが見られ、運動系は男子に、文化系は女子に人気があることがわかりました【p.9】。習い事率に関しては、男女による大きな違いはみられませんが、小1～3生では地域差があり、都市部ほど習い事が盛んです【p.10】。また、小学生から中学生にかけて、世帯年収が高いほど習い事をしていることも明らかになりました【p.11】。

● 学習塾の実態—中学生は5割、小4～6生と高校生は3割、小1～3生は2割弱が学習塾に通う

次に、通塾について確認したところ、中学生の5割、小4～6生と高校生の3割、小1～3生の2割弱が学習塾に通っていました。経年でみると、近年、中学生でわずかに通塾率が低下していますが、全体ではほぼ横ばいで推移しています【p.12】。学年別では、受験を迎える小6、中3、高3で通塾率が高まり、もっとも高い中3では6割が塾に通っています【p.13】。塾の種類では、小1～3生では「プリント教材の教室」の比率が高く、小4～6生では「プリント教材の教室」「補習塾」「進学塾」が三分されます【p.14】。さらに中学生になると「プリント教材の教室」が少なくなって「補習塾」と「進学塾」に二分され、高校生では「進学塾」の比率が高まります【p.15】。通塾率は、男女による違いは小さいものの、居住する地域によって差があり、いずれの学校段階でも都市部ほど通塾が盛んです【p.16】。また、いずれの学校段階でも世帯年収による差がみられ、高年収であるほど塾に通う比率が高いという結果でした【p.17】。

● 教育費の状況—小学生は増加傾向、中高生はほぼ横ばいで推移

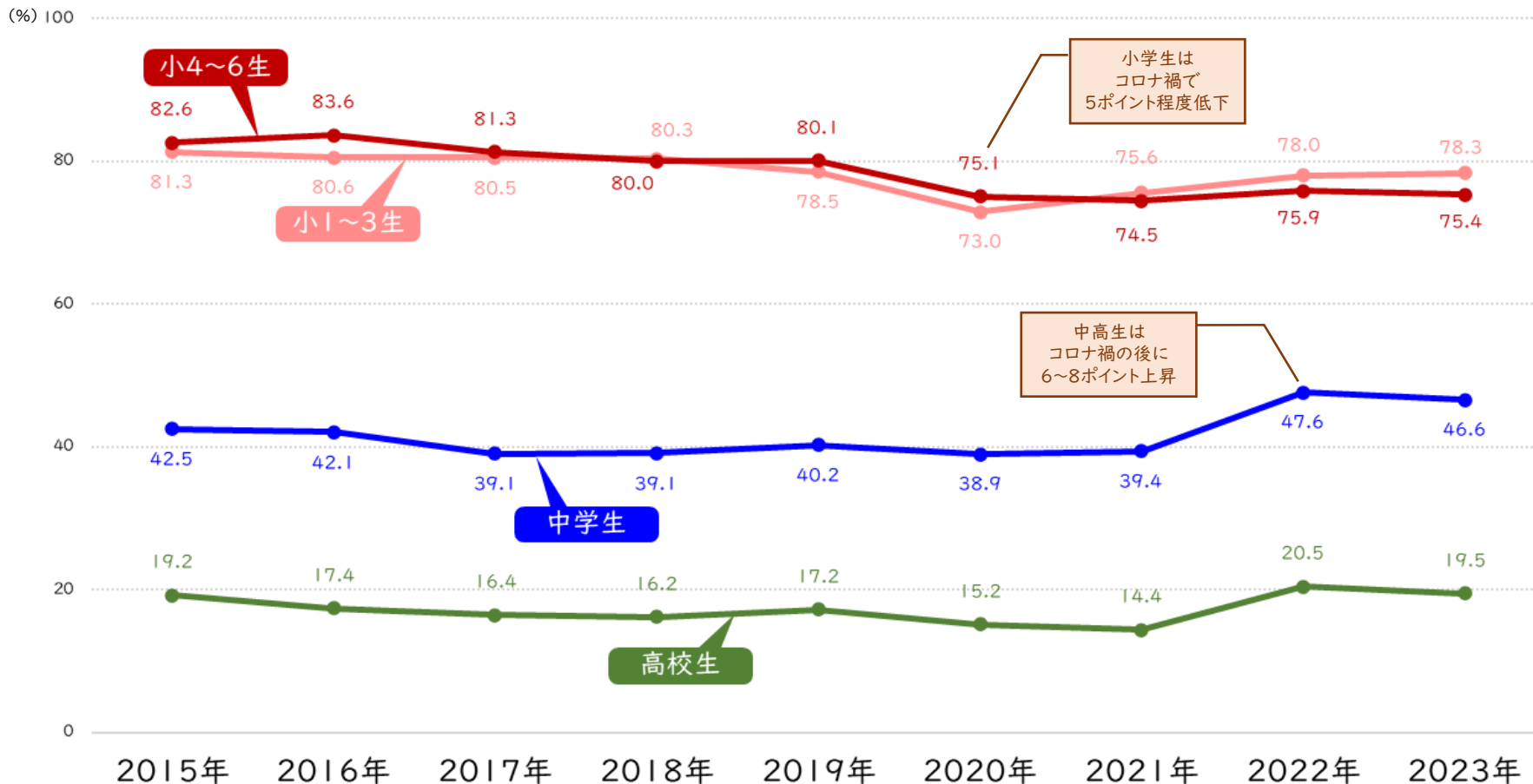
最後に、習い事や学習塾にかかる費用（学校の授業料を除く教育費）を検討しました。2015年からの変化では、教育費は小学生で増加傾向にあり、中学生と高校生はほぼ横ばいでした【p.18】。この推移を世帯年収別に見ると、小1～3生では年収「800万円以上」の高年収層で教育費が増えていました【p.19】。また、中学生では「400万円未満」で教育費が減る一方、「800万円以上」では増えており、年収による格差が拡大していました【p.20】。学年による違いは通塾率と同様に、小6、中3、高3で支出額が多くなっています【p.21】。また、教育支出も地域【p.22】や世帯年収【p.23】による差がありました。都市部ほど、また高年収層ほど、教育費は多い傾向が顕著です。

① 経年での変化

5

小学生は8割で推移。中高生はコロナ禍後に増加し、中学生5割、高校生2割

● 図1-1: 習い事率（学校段階別）【2015-23年データ】 ※学習塾は除く



*保護者を対象に、「調査対象となっているお子様は、ふだん（夏休みではないふつうのとき）、学校外の習い事やスポーツクラブに行っていますか。部活動。学習塾、学習教室は除きます」という質問に対して、「行っている」と回答した比率。

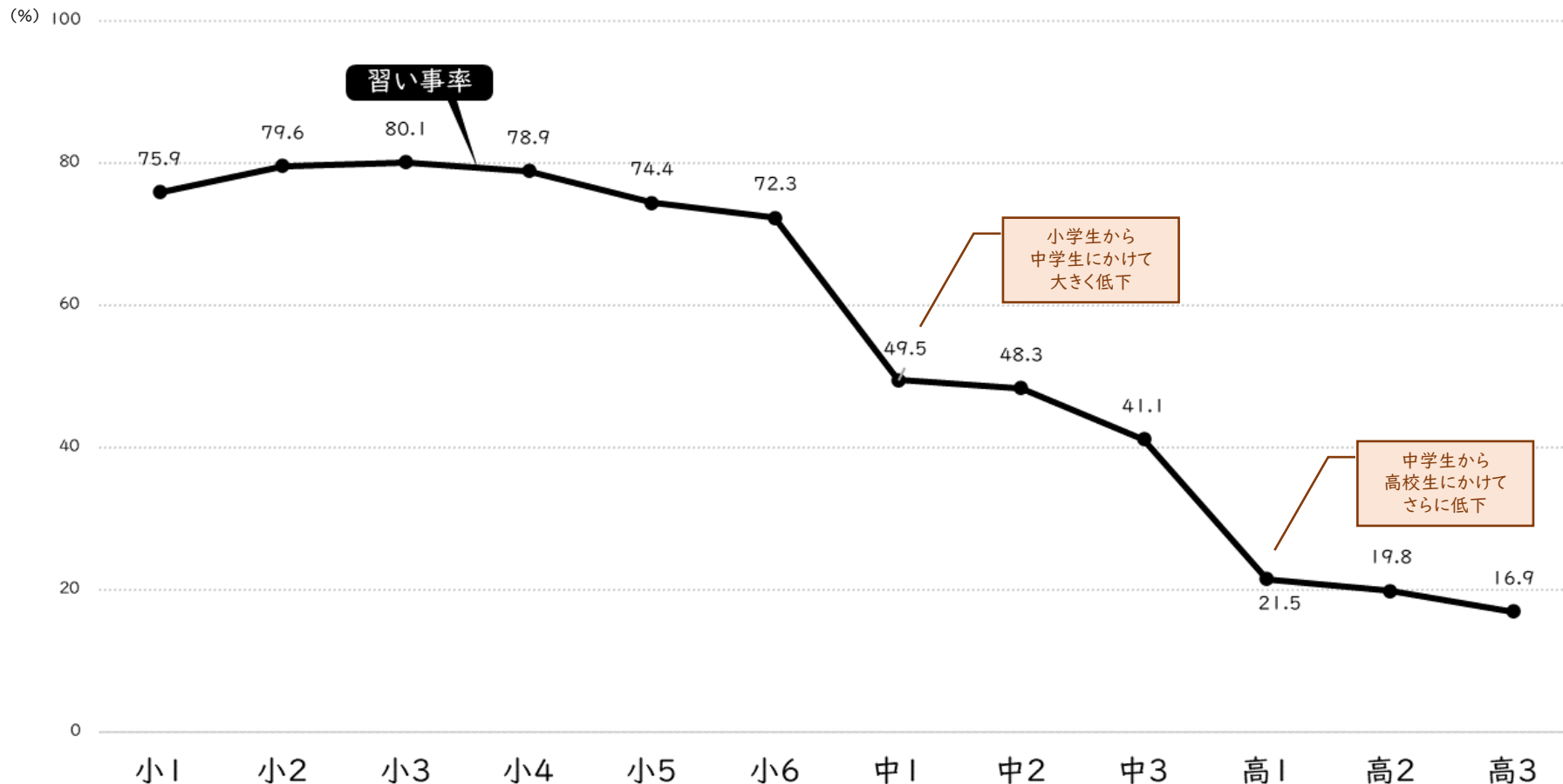
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-23年。

② 学年による違い

6

学年別にみると、小学生は7～8割、中学生は4～5割、高校生は2割で推移

● 図1-2: 習い事率 (学年別) 【2023年データ】 ※学習塾は除く



*保護者を対象に、「調査対象となっているお子様は、ふだん(夏休みではないふつうのとき)、学校外の習い事やスポーツクラブに行っていますか。部活動。学習塾、学習教室は除きます」という質問に対して、「行っている」と回答した比率。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。

③ 習い事の種類（小学生）

7

運動系は「スイミング」、文化系は「楽器・音楽教室」「英会話・英語教室」が人気

● 表1-1: 習い事の種類（学校段階別、小学生）【2015-23年データ】

		小1～3生										小4～6生									
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
運動系	スイミング	39.5	40.9	40.9	41.5	40.3	36.7	37.8	39.5	39.6	①	24.7	24.4	24.8	24.2	25.5	23.6	23.8	22.9	23.9	①
	体操・運動遊び	10.7	11.1	11.5	11.8	11.5	10.8	11.9	14.0	14.8	②	5.3	5.5	5.6	6.7	5.6	5.5	6.0	6.5	7.8	③
	サッカー	11.5	11.1	10.0	9.4	10.3	8.7	9.5	9.9	10.5	③	11.2	10.1	10.1	10.4	9.6	9.0	8.7	8.4	8.9	②
	ダンス	5.0	5.0	5.3	6.1	6.6	5.6	6.4	8.1	8.8	④	5.0	4.8	4.2	4.3	4.9	5.1	5.7	6.1	6.3	⑤
	武道・武術	6.6	6.0	6.3	6.1	6.2	5.4	5.6	5.6	5.9	⑤	7.3	7.7	7.1	7.1	6.4	5.6	6.0	6.3	6.8	④
	野球・ソフトボール	2.9	3.1	3.1	3.1	3.3	2.5	3.3	3.2	3.0	⑥	5.3	5.8	6.1	6.0	6.2	5.6	5.6	5.1	4.9	⑥
	バスケットボール	2.1	1.8	1.9	2.0	2.3	1.6	2.3	2.5	3.0	⑥	4.3	4.5	4.6	4.9	4.5	4.4	3.7	4.0	4.8	⑦
	テニス	2.9	3.4	3.3	2.4	2.5	1.9	2.0	1.8	2.0	⑧	5.2	6.0	6.0	6.4	5.3	4.5	4.0	3.5	3.1	⑧
	陸上競技	1.0	1.3	1.7	1.7	1.8	1.2	1.2	1.7	1.4	⑨	2.5	2.7	2.6	2.8	2.9	2.4	2.7	2.4	2.4	⑨
	上記以外のスポーツ	4.2	3.6	4.2	4.4	5.6	4.0	4.7	4.7	4.0		6.9	7.0	6.9	6.9	7.2	5.7	6.5	6.4	6.4	
文化系	楽器・音楽教室	26.9	25.9	26.0	25.5	23.1	21.3	22.3	23.3	22.3	①	26.0	26.8	24.7	23.8	22.8	20.3	20.6	20.6	19.9	①
	英会話・英語教室	17.0	17.3	18.8	18.8	16.6	14.3	15.3	18.5	18.3	②	17.2	17.9	17.1	16.7	17.6	16.1	15.5	18.3	18.2	②
	習字・硬筆	14.7	14.2	14.8	13.8	13.3	11.1	12.0	12.8	11.9	③	19.7	19.4	18.3	16.7	17.0	15.6	14.7	14.8	13.7	③
	そろばん	8.2	7.8	8.3	7.8	7.5	6.2	6.4	7.1	6.9	④	9.7	9.8	9.2	9.9	9.3	7.7	6.8	7.6	7.2	④
	絵画・造形教室	1.9	2.3	2.2	2.0	1.8	1.8	2.0	3.0	3.3	⑤	1.8	1.8	1.4	1.7	1.6	1.3	1.6	2.0	2.5	⑤
	バレエ	3.2	3.4	3.1	3.2	2.8	2.8	2.6	2.7	2.6	⑥	2.5	2.4	2.4	2.4	2.2	2.1	2.3	2.0	2.0	⑥
	上記以外の文化活動	2.4	2.6	3.2	3.1	4.8	3.3	3.9	3.4	3.7		2.8	3.0	2.6	2.8	4.6	3.6	3.7	4.3	4.0	

*保護者を対象に、「お子様が習っているものすべてに○をつけてください」に対して選択した比率（複数回答）。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-23年。

④ 習い事の種類（中高生）

8

中高生になっても「楽器・音楽教室」「英会話・英語教室」は高い割合で推移

● 表1-2: 習い事の種類（学校段階別、中高生）【2015-23年データ】

		中学生									高校生								
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
運動系	スイミング	3.2	2.5	2.7	3.2	2.9	3.3	3.4	3.4	3.2	0.9	0.8	1.1	0.7	0.7	0.6	0.6	1.2	1.4
	体操・運動遊び	0.6	0.7	0.8	0.8	0.3	0.4	0.8	1.2	1.0	0.3	0.3	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2
	サッカー	2.7	2.8	2.6	2.3	2.3	2.4	2.7	2.9	2.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.5	0.5	0.3	0.5	0.6
	ダンス	2.0	2.0	2.2	2.0	2.1	2.1	2.1	2.3	2.5	1.1	1.2	1.2	1.0	1.0	1.2	1.1	1.5	1.1
	武道・武術	4.4	4.3	3.6	3.3	3.3	2.7	3.1	3.4	3.5	1.8	1.3	1.3	1.3	1.1	0.8	1.0	1.0	1.1
	野球・ソフトボール	1.2	1.1	0.9	1.0	1.3	1.3	1.4	1.8	2.0	0.3	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3
	バスケットボール	0.9	0.9	0.8	1.2	1.2	1.3	1.1	1.4	1.7	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.5	0.5
	テニス	2.8	3.0	2.5	2.5	2.9	3.0	2.4	3.0	2.8	1.0	1.3	1.2	0.8	1.0	0.6	0.9	1.0	1.5
	陸上競技	0.8	0.7	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	1.0	1.3	0.1	0.2	0.3	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2
文化系	上記以外のスポーツ	2.9	2.9	2.8	2.9	3.6	3.1	3.5	3.1	3.5	1.6	1.6	1.5	1.6	1.7	1.3	1.2	1.6	1.0
	楽器・音楽教室	13.8	14.0	13.0	11.8	12.4	12.0	11.9	12.9	13.0	6.7	6.0	5.3	5.5	5.5	5.1	4.5	5.4	5.9
	英会話・英語教室	8.4	8.0	7.8	7.7	7.2	7.0	7.8	11.7	11.7	2.9	2.5	2.4	3.1	3.1	2.8	2.2	4.1	3.8
	習字・硬筆	7.2	7.7	7.3	7.3	7.6	6.6	6.5	6.7	7.4	2.3	1.6	1.9	1.7	2.4	1.9	2.0	2.2	1.4
	そろばん	1.6	1.7	1.3	1.1	1.6	1.6	1.5	1.4	1.6	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
	絵画・造形教室	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.3	0.4	0.6	0.6	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4
	バレエ	1.2	1.2	1.1	1.2	1.2	1.1	1.0	1.2	1.3	0.6	0.8	0.5	0.6	0.5	0.8	0.5	0.6	0.3
	上記以外の文化活動	1.4	1.3	1.1	1.3	1.8	1.5	1.9	2.0	2.2	0.9	0.9	0.8	0.8	1.6	0.9	0.9	1.1	0.7

*保護者を対象に、「お子様が習っているものすべてに○をつけてください」に対して選択した比率（複数回答）。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-23年。

⑤ 習い事の種類（性別）

9

運動系は男子に、文化系は女子に人気のある習い事が多い

● 表1-3: 習い事の種類（性別）【2023年データ】

（%）

		小1～3生			小4～6生			中学生			高校生		
		全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
運動系	スイミング	39.6	42.6	> 36.5	23.9	25.2	22.5	3.2	4.1	2.4	1.4	1.9	0.8
	体操・運動遊び	14.8	14.2	15.5	7.8	6.7	9.0	1.0	0.3	1.6	0.2	0.4	0.1
	サッカー	10.5	19.4	> 1.5	8.9	16.5	> 1.4	2.5	4.6	0.4	0.6	1.2	0.2
	ダンス	8.8	3.2	< 14.3	6.3	2.1	< 10.6	2.5	0.4	4.5	1.1	0.4	1.7
	武道・武術	5.9	7.9	3.9	6.8	9.4	> 4.2	3.5	4.6	2.3	1.1	1.3	0.9
	野球・ソフトボール	3.0	5.4	0.6	4.9	9.0	> 0.8	2.0	3.6	0.6	0.3	0.5	0.1
	バスケットボール	3.0	4.0	2.1	4.8	6.0	3.6	1.7	2.2	1.2	0.5	0.8	0.3
	テニス	2.0	2.0	2.0	3.1	3.0	3.2	2.8	3.2	2.4	1.5	1.6	1.5
	陸上競技	1.4	2.0	0.9	2.4	2.6	2.1	1.3	1.3	1.3	0.2	0.4	0.0
	上記以外のスポーツ	4.0	4.4	3.6	6.4	6.7	6.2	3.5	3.8	3.2	1.0	1.1	0.9
文化系	楽器・音楽教室	22.3	13.8	< 30.9	19.9	10.6	< 29.4	13.0	7.3	< 18.4	5.9	4.2	7.4
	英会話・英語教室	18.3	16.5	20.0	18.2	17.6	18.9	11.7	10.6	12.5	3.8	3.6	4.1
	習字・硬筆	11.9	9.0	< 14.8	13.7	9.5	< 17.9	7.4	3.6	< 11.0	1.4	0.7	1.8
	そろばん	6.9	6.6	7.1	7.2	6.5	7.9	1.6	1.4	1.8	0.1	0.0	0.2
	絵画・造形教室	3.3	2.3	4.2	2.5	1.1	3.9	0.6	0.3	0.8	0.4	0.2	0.6
	バレエ	2.6	0.2	4.9	2.0	0.1	3.9	1.3	0.1	2.4	0.3	0.0	0.6
	上記以外の文化活動	3.7	4.6	2.8	4.0	5.3	2.8	2.2	2.3	2.0	0.7	0.8	0.6

*保護者を対象に、「お子様が習っているものすべてに○をつけてください」に対して選択した比率（複数回答）。男女で5ポイント以上の差があった箇所に不等号をつけた。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015～23年。

⑥ 男女、地域による違い

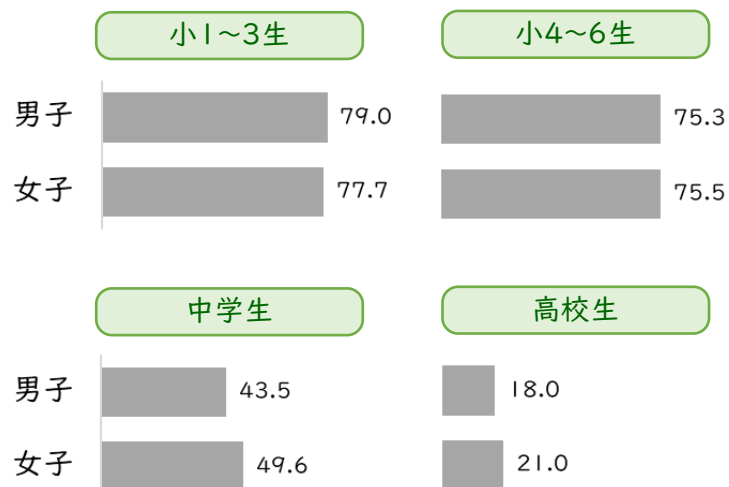
10

性別では中学生で女子の比率が高い。地域別では小1～3で地域差がみられる

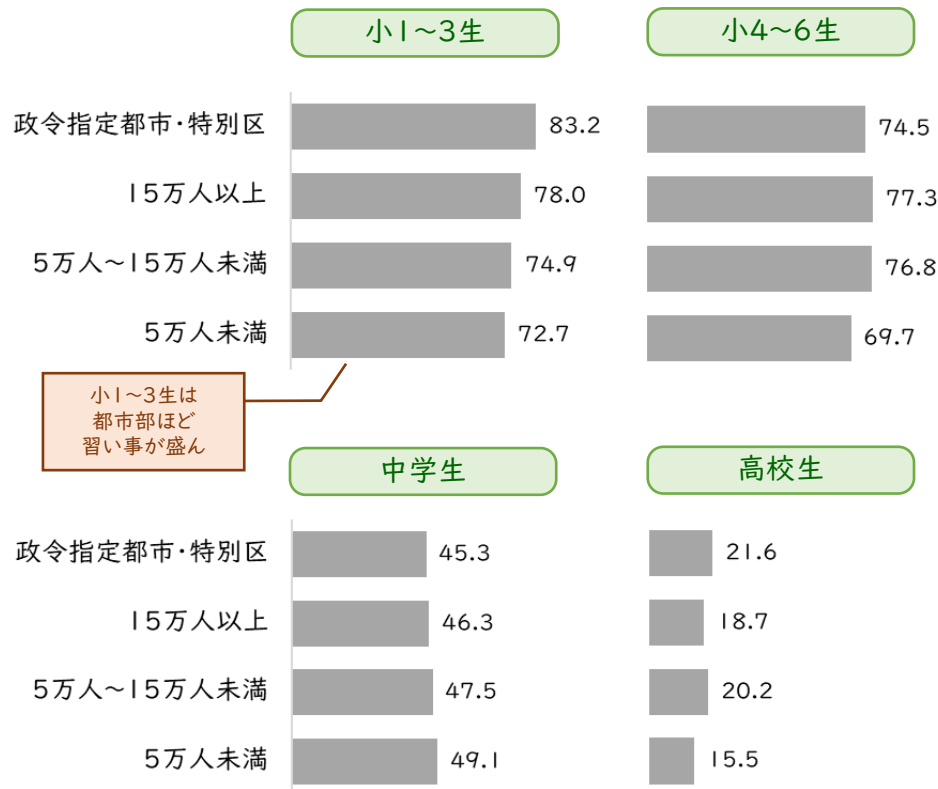
● 図1-3: 習い事率 (性別・地域別) 【2023年データ】 ※学習塾は除く

(%)

性別

中学生は女子が
6ポイント程度高い

地域別

小1～3生は
都市部ほど
習い事が盛ん

*保護者を対象に、「調査対象となっているお子様は、ふだん（夏休みではないふつうのとき）、学校外の習い事やスポーツクラブに行っていますか。部活動。学習塾、学習教室は除きます」という質問に対して、「行っている」と回答した比率。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。

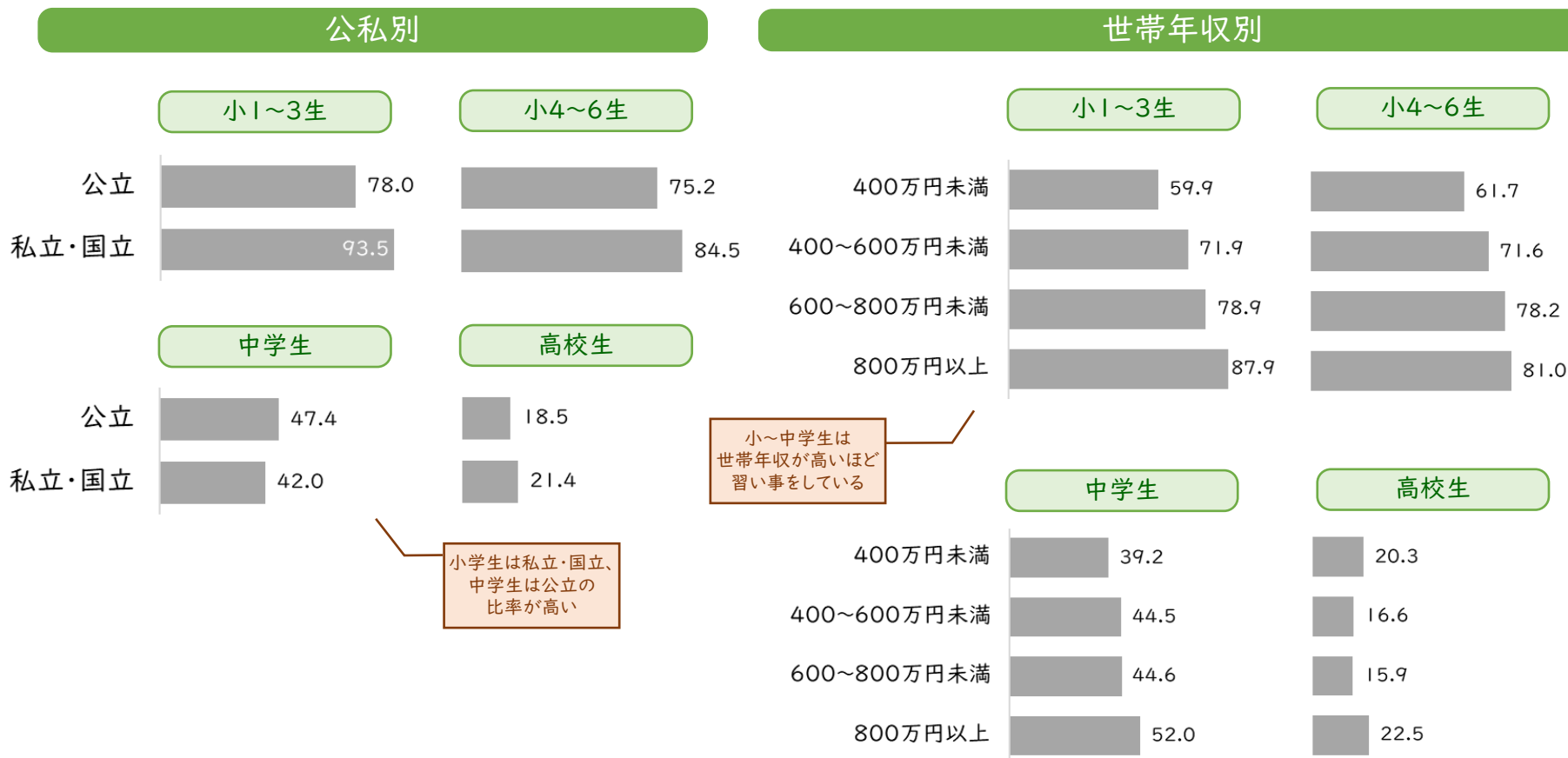
⑦ 公私、世帯年収による違い

11

小～中学生は世帯年収が高いほど習い事をする傾向がみられる

● 図1-4: 習い事率（公私別・世帯年収別）【2023年データ】 ※学習塾は除く

(%)



*保護者を対象に、「調査対象となっているお子様は、ふだん（夏休みではないふつうのとき）、学校外の習い事やスポーツクラブに行っていますか。部活動。学習塾、学習教室は除きます」という質問に対して、「行っている」と回答した比率。

*「私立・国立」（中学生・高校生）には、「公立中高一貫校」に進学した者を含む。

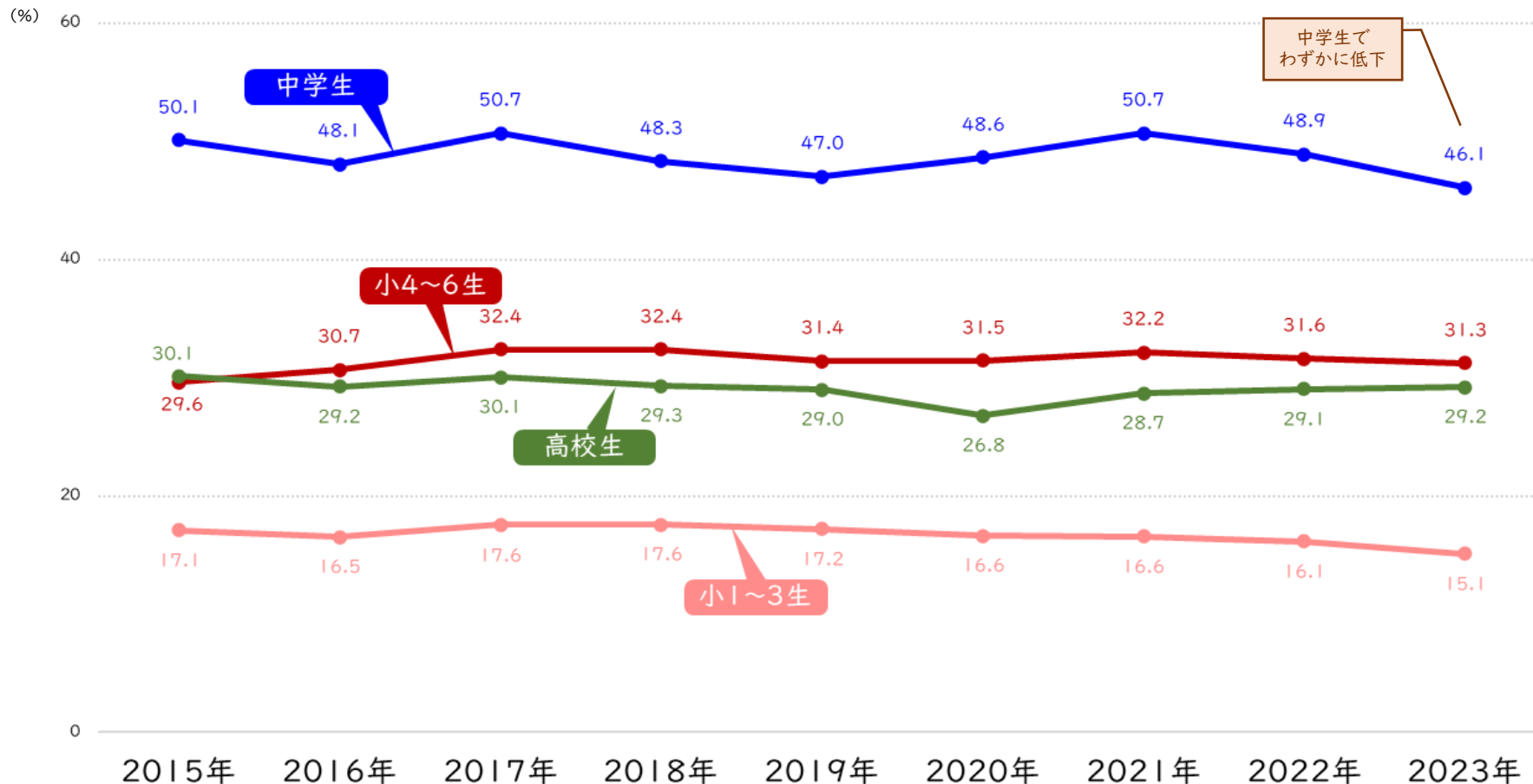
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。

①経年での変化

12

中学生は約5割、小4～6生と高校生は約3割で推移し、ほぼ横ばい

●図2-1:通塾率(学校段階別)【2015-23年データ】※習い事は除く



*保護者を対象に、「調査対象となっているお子様は、ふだん(夏休みではないふつうのとき)、学習塾に行っていますか。オンライン塾や学習教室は含みます。英会話、そろばん、習字などの習い事は除きます」という質問に対して、「行っている」と回答した比率。

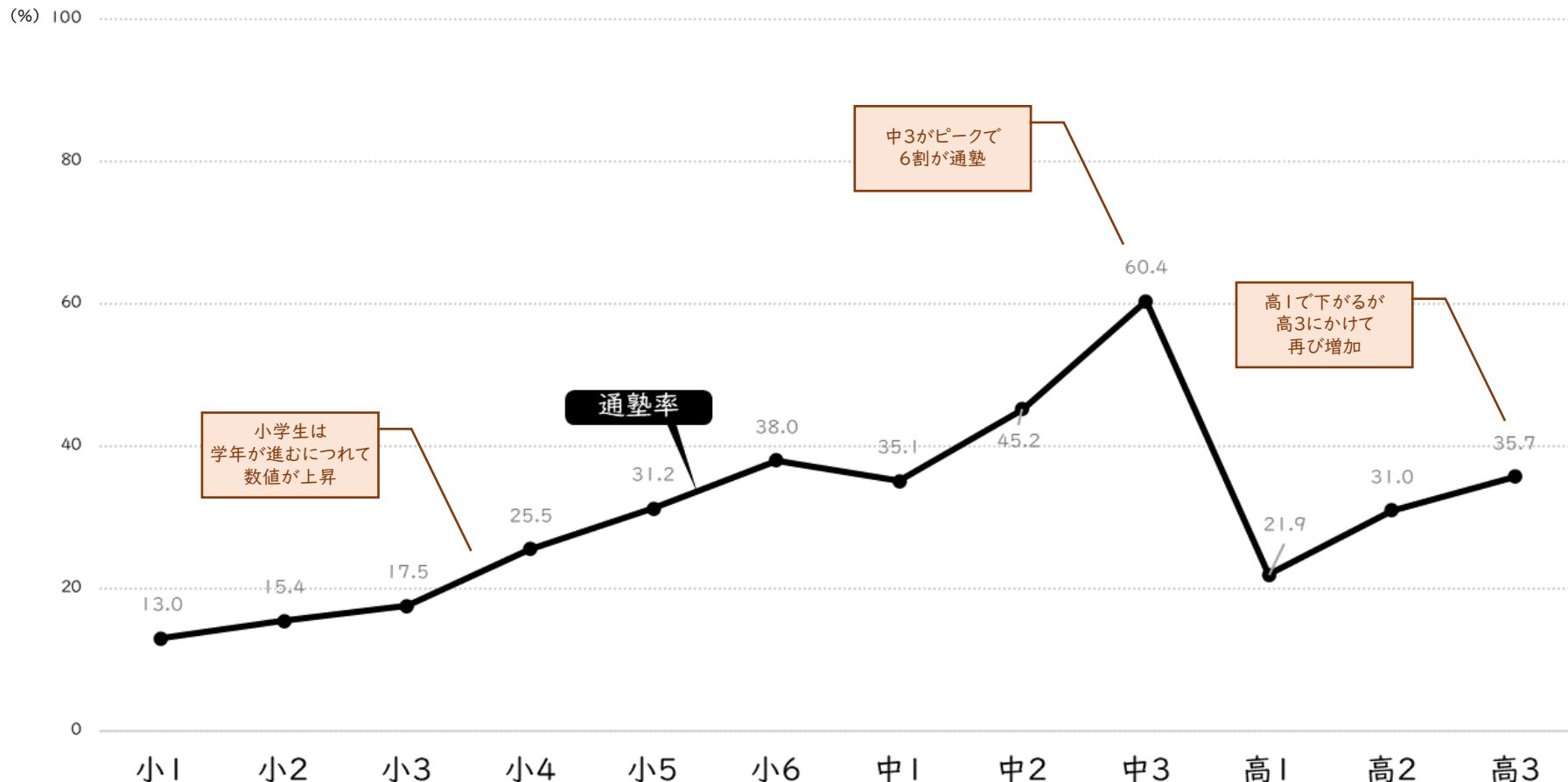
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-23年。

②学年による違い

13

各学校段階では、受験を迎える小6、中3、高3の通塾率が高い

●図2-2:通塾率(学年別)【2023年データ】※学習塾は除く



*保護者を対象に、「調査対象となっているお子様は、ふだん(夏休みではないふつうのとき)、学習塾に行っていますか。オンライン塾や学習教室を含みます。英会話、そろばん、習字などの習い事は除きます」という質問に対して、「行っている」と回答した比率。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。

③学習塾の種類（小学生）

小1～3は「プリント教材の教室」が多く、小4～6は「補習塾」「進学塾」が増加

●表2-1：学習塾の種類（学校段階別、小学生）【2015-23年データ】

(%)

		小1～3生									小4～6生								
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
通塾率		17.1	16.5	17.6	17.6	17.2	16.6	16.6	16.1	15.1	29.6	30.7	32.4	32.4	31.4	31.5	32.2	31.6	31.3
塾の種類	プリント教材の教室	78.8	79.9	76.3	75.1	78.6	73.7	72.9	69.0	70.1	38.9	41.4	39.7	39.2	37.0	34.5	34.9	31.0	30.6
	補習塾	12.6	11.5	12.4	13.2	11.3	16.2	15.4	18.3	17.2	24.2	26.9	26.2	25.3	26.8	28.4	28.9	29.0	29.9
	進学塾	8.5	8.6	11.3	11.7	10.1	10.1	11.8	12.7	12.7	36.8	31.7	34.1	35.5	36.2	37.1	36.2	40.0	39.5
指導形態	集団指導（4人以上）	67.1	69.7	71.1	74.3	72.6	64.5	63.5	65.7	59.8	69.4	66.1	66.9	70.4	69.4	65.5	66.9	63.3	65.4
	個別指導（1～3人）	25.5	24.4	23.4	20.5	21.9	25.4	27.0	24.0	28.6	27.1	28.7	29.0	26.3	26.8	26.6	25.8	27.4	28.2
	映像授業	0.3	0.1	0.2	0.2	0.6	3.7	3.4	3.4	4.2	0.3	0.4	0.3	0.7	0.4	3.4	3.7	4.5	3.2
	その他	7.1	5.7	5.2	4.9	4.8	6.4	6.1	6.8	7.4	3.1	4.7	3.8	2.6	3.4	4.5	3.5	4.7	3.2
教科	国語	※調査していない				71.0	70.6	73.1	72.7	73.8	※調査していない				71.7	74.2	75.7	75.5	74.6
	算数/数学					85.6	84.9	87.7	87.9	86.1					87.7	89.5	89.8	90.4	90.4
	理科					3.8	3.8	4.1	8.1	7.5					31.6	35.7	37.0	38.4	35.1
	社会					3.5	3.6	3.9	6.8	6.8					29.4	33.0	34.0	34.6	32.5
	英語					27.0	27.7	25.7	27.5	23.6					34.4	39.1	40.2	37.5	36.4
	その他					2.4	3.5	3.7	3.2	2.5					1.6	2.2	2.4	1.6	1.7

*保護者を対象に質問。「塾の種類」は「お子様は、どのような学習塾に通っていますか」という質問に対してもっとも近いもの1つを選択、「指導形態」は「お子様が通われている学習塾はどのようなタイプですか」という質問に対してもっとも近いもの1つを選択、「教科」は「学習塾ではどのような教科を学習していますか」という質問に対して当てはまるものすべてを選択した比率。

*「塾の種類」「指導形態」「教科」はいずれも、通塾者を母数にした数値。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-23年。

④学習塾の種類(中高生)

15

中学生は「補習塾」と「進学塾」が二分、高校生は「進学塾」の比率が高い

●表2-2:学習塾の種類(学校段階別、中高生)【2015-23年データ】

(%)

		中学生									高校生								
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
通塾率		50.1	48.1	50.7	48.3	47.0	48.6	50.7	48.9	46.1	30.1	29.2	30.1	29.3	29.0	26.8	28.7	29.1	29.2
塾の種類	プリント教材の教室	9.1	9.1	10.1	10.1	10.3	9.9	8.4	9.1	9.4	3.2	2.4	2.9	2.8	2.7	2.1	1.9	1.8	1.7
	補習塾	40.3	40.4	39.9	41.8	44.0	44.1	45.4	43.9	43.4	27.0	27.5	26.9	26.7	27.2	29.2	30.1	30.5	30.0
	進学塾	50.7	50.5	49.9	48.1	45.7	46.0	46.2	47.0	47.2	69.8	70.1	70.2	70.5	70.1	68.7	68.1	67.7	68.4
指導形態	集団指導(4人以上)	61.9	60.6	58.7	59.7	59.4	57.0	54.5	54.9	54.9	40.8	37.9	36.6	32.3	31.8	31.4	28.4	30.5	30.1
	個別指導(1~3人)	35.3	36.2	38.8	37.7	37.0	38.1	39.0	38.9	39.7	37.0	38.8	36.8	40.6	42.2	42.6	46.2	43.2	44.6
	映像授業	0.9	1.1	0.8	0.7	1.4	2.6	3.7	3.6	3.1	20.4	21.6	25.2	24.9	23.7	24.6	23.4	23.8	22.6
	その他	1.9	2.0	1.7	1.9	2.1	2.3	2.9	2.6	2.3	1.8	1.7	1.5	2.2	2.3	1.4	2.0	2.5	2.7
教科	国語	※調査していない				54.5	56.6	57.4	58.3	56.5	※調査していない				29.8	31.4	33.8	30.4	30.8
	算数/数学					91.9	91.6	91.9	92.2	91.9					72.1	75.6	75.8	79.0	77.5
	理科					47.8	48.7	47.8	48.5	45.4					23.9	27.0	25.4	25.8	25.8
	社会					44.9	44.8	43.4	44.6	41.7					13.2	16.1	14.4	15.3	11.6
	英語					91.0	90.4	88.8	89.8	88.4					81.0	78.4	80.5	79.0	75.4
	その他					1.0	1.0	0.9	1.1	0.6					2.1	2.7	2.3	0.8	3.0

*保護者を対象に質問。「塾の種類」は「お子様は、どのような学習塾に通っていますか」という質問に対してもっとも近いもの1つを選択、「指導形態」は「お子様が通われている学習塾はどのようなタイプですか」という質問に対してもっとも近いもの1つを選択、「教科」は「学習塾ではどのような教科を学習していますか」という質問に対して当てはまるものすべてを選択した比率。

*「塾の種類」「指導形態」「教科」はいずれも、通塾者を母数にした数値。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-23年。

⑤男女、地域による違い

16

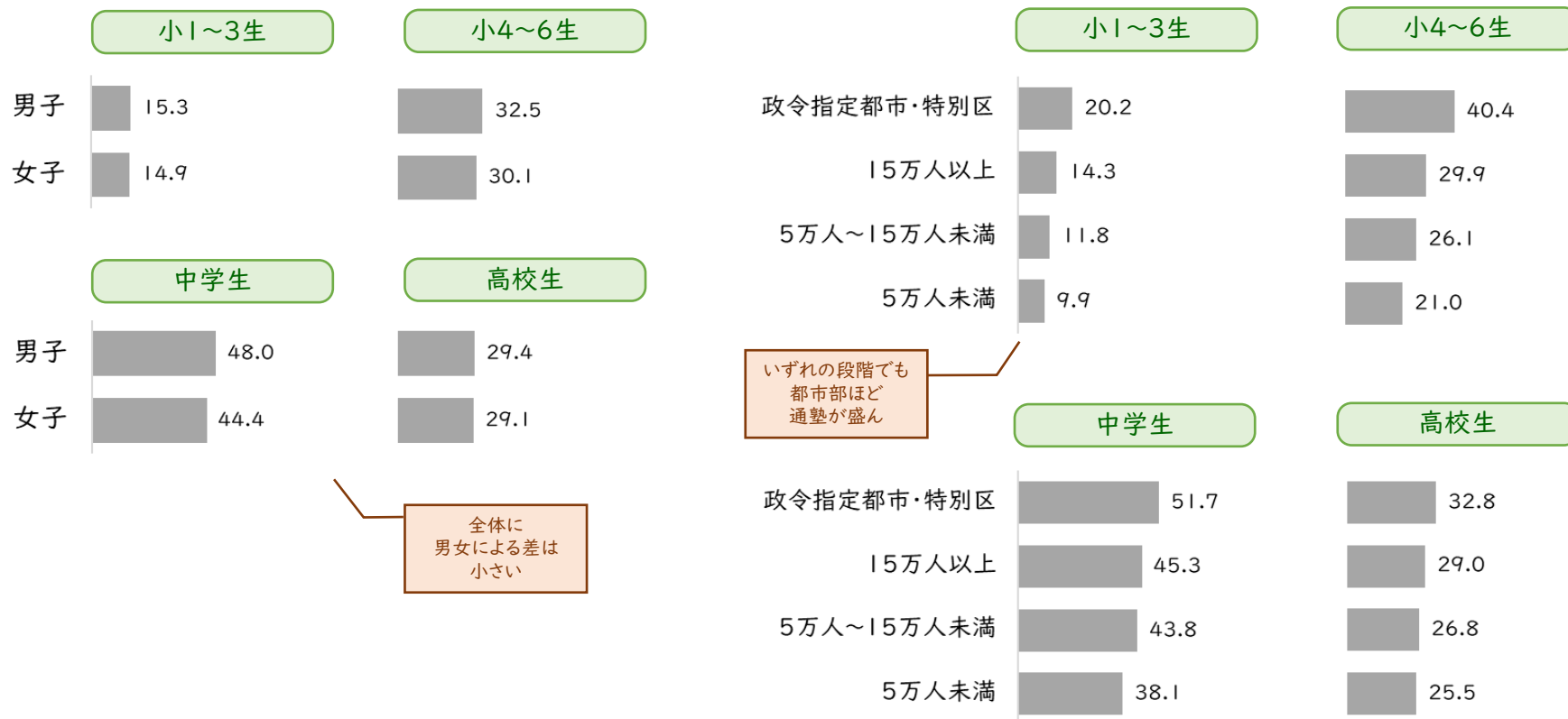
地域別にみると、いずれの学校段階でも都市部ほど通塾率が高い

●図2-3:通塾率(性別・地域別)【2023年データ】※習い事は除く

(%)

性別

地域別



*保護者を対象に、「調査対象となっているお子様は、ふだん(夏休みではないふつうのとき)、学習塾に行っていますか。オンライン塾や学習教室は含みます。英会話、そろばん、習字などの習い事は除きます」という質問に対して、「行っている」と回答した比率。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。

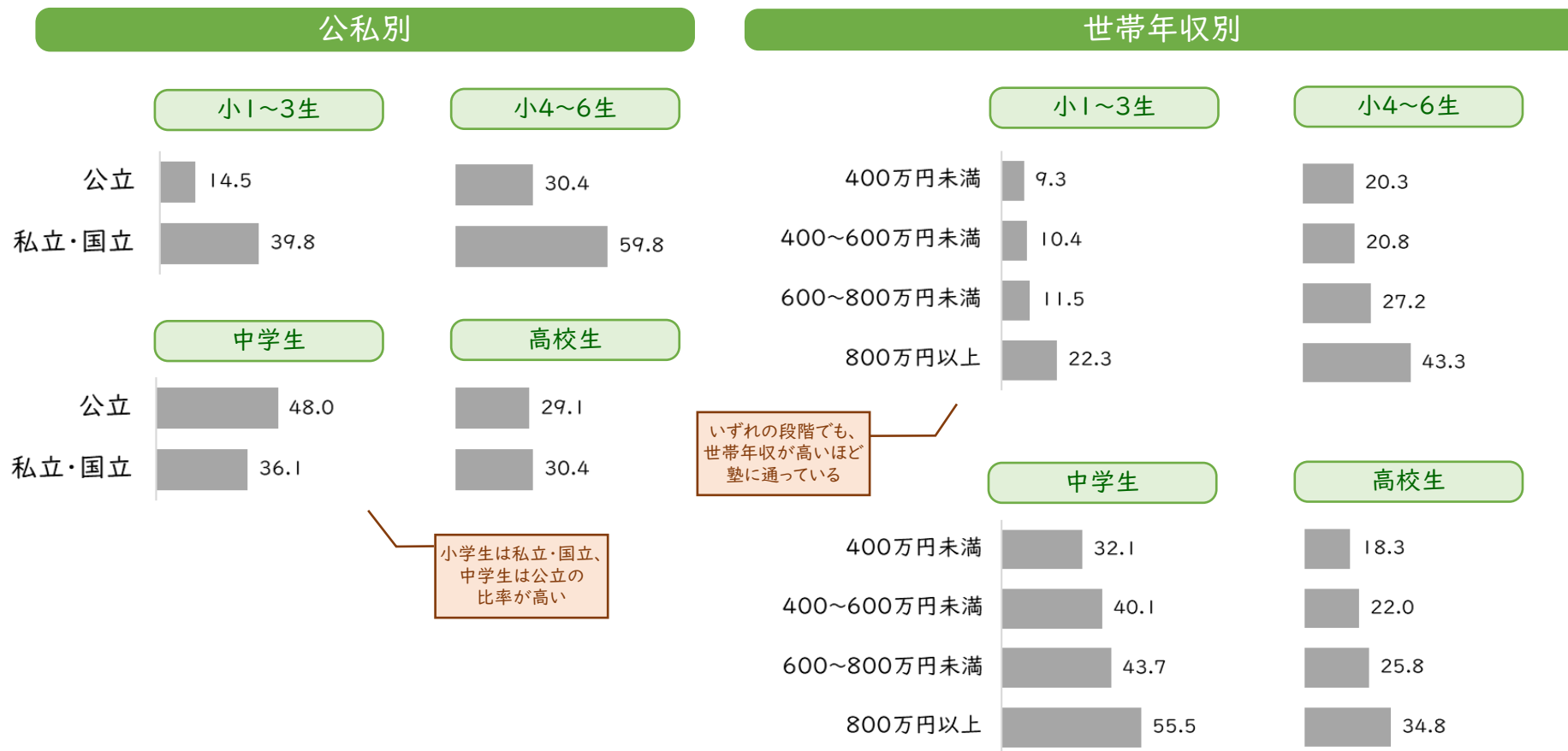
⑥公私、世帯年収による違い

17

いずれの学校段階でも、世帯年収が高いほど塾に通う傾向がみられる

●図2-4:通塾率(公私別・世帯年収別)【2023年データ】※習い事は除く

(%)



*保護者を対象に、「調査対象となっているお子様は、ふだん(夏休みではないふつうのとき)、学習塾に行っていますか。オンライン塾や学習教室を含みます。英会話、そろばん、習字などの習い事は除きます」という質問に対して、「行っている」と回答した比率。

*「私立・国立」(中学生・高校生)には、「公立中高一貫校」に進学した者を含む。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。

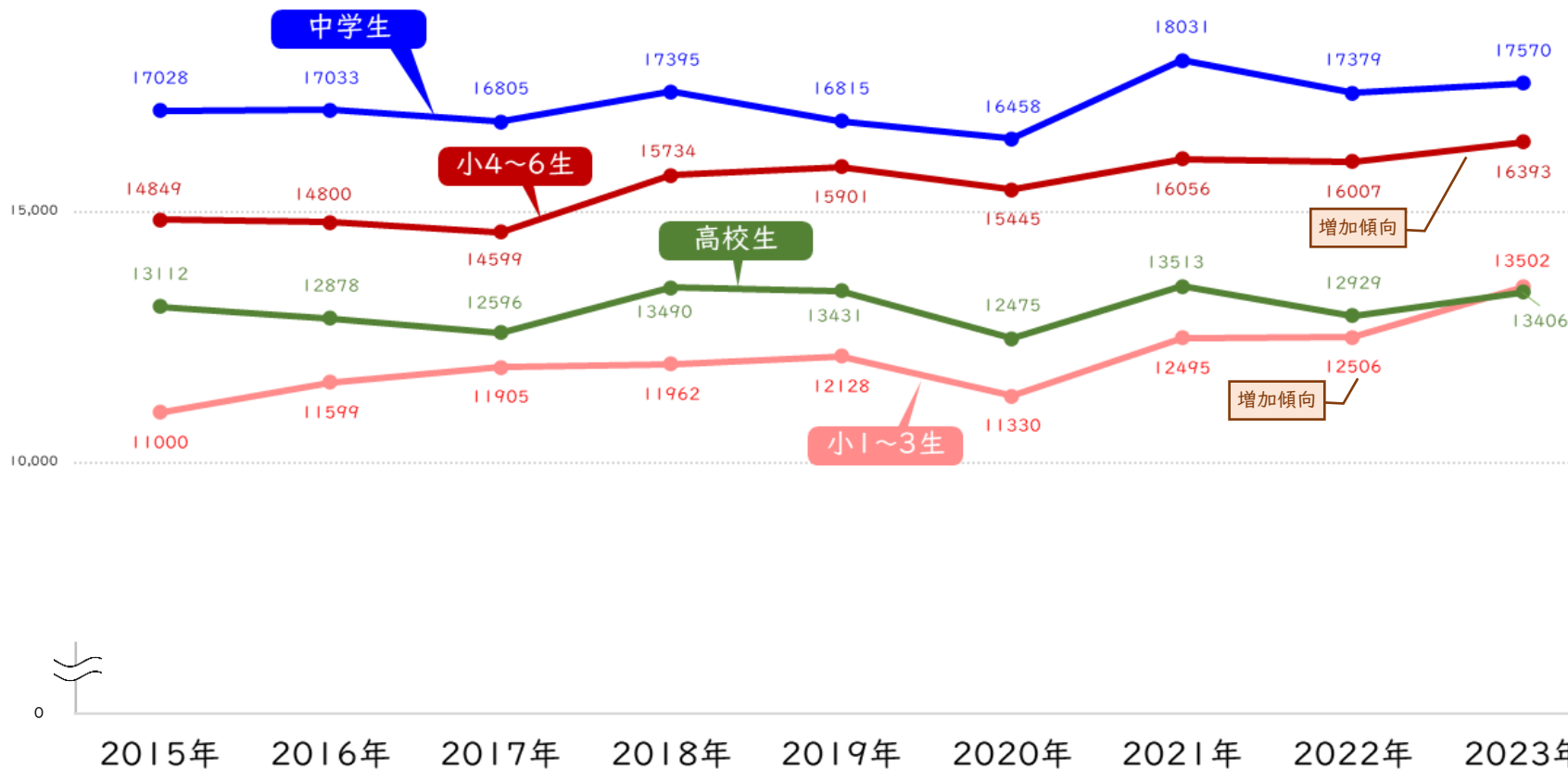
①経年での変化

18

小1～3生、小4～6生で1人あたりの教育費が増加傾向にある

●図3-1：1人当たりの教育費（学校段階別）【2015-23年データ】 ※学校の授業料は除く

(円) 20,000



*保護者を対象に、「ご家庭の教育費はどれくらいですか。習い事や学習塾の費用、教材費などの合計。学校の授業料は除きます」という質問の「対象となっているお子様1人の金額を、月平均でお答えください」に対する回答。数値は「1,000円未満」を500円、「1,000～2,500円未満」を1,750円…「40,000～50,000円未満」を45,000円、「50,000円以上」を55,000円のように換算して算出。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-23年。

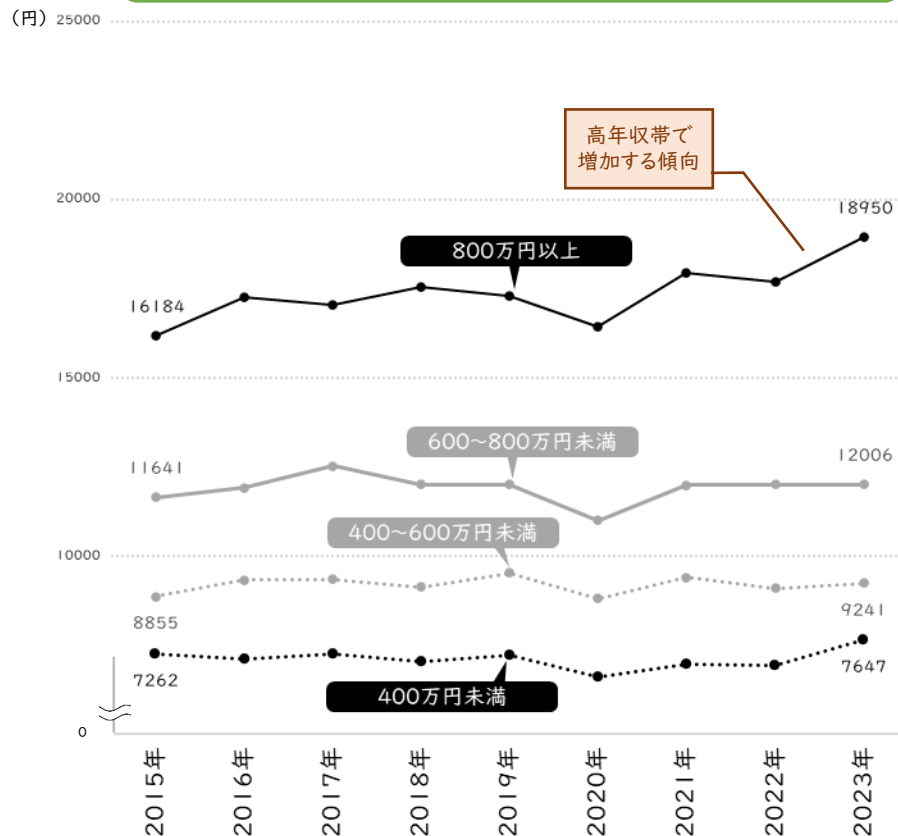
②経年での変化(世帯年収別、小学生)

19

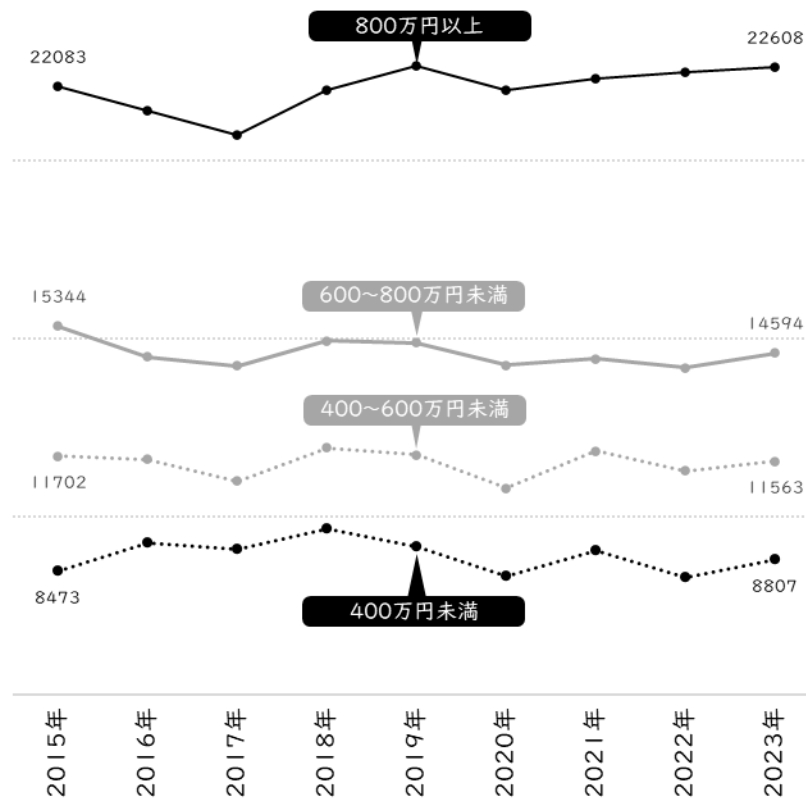
小1～3生では年収「800万円以上」の世帯の教育費が増えている

●図3-2: 1人当たりの教育費(世帯年収別、小学生)【2015-23年データ】※学校の授業料は除く

小1～3生



小4～6生



*保護者を対象に、「ご家庭の教育費はどれくらいですか。習い事や学習塾の費用、教材費などの合計。学校の授業料は除きます」という質問の「対象となっているお子様1人の金額を、月平均でお答えください」に対する回答。数値は「1,000円未満」を500円、「1,000～2,500円未満」を1,750円…「40,000～50,000円未満」を45,000円、「50,000円以上」を55,000円のように換算して算出。

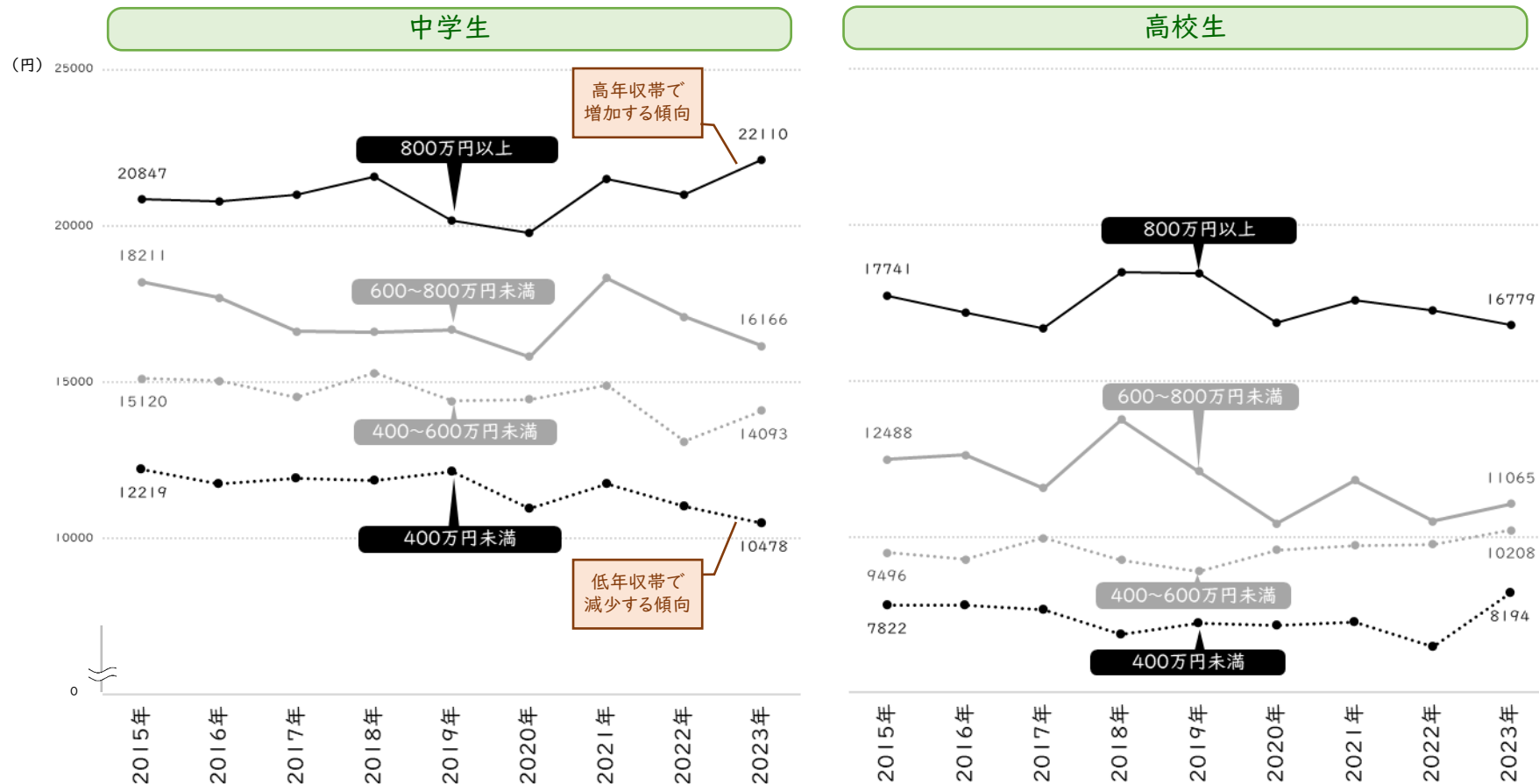
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-23年。

③経年での変化(世帯年収別、中高生)

20

中学生では「800万円以上」で増加、「400万円未満」で減少し、格差が拡大

●図3-3: 1人当たりの教育費(世帯年収別、中高生)【2015-23年データ】※学校の授業料は除く



*保護者を対象に、「ご家庭の教育費はどれくらいですか。習い事や学習塾の費用、教材費などの合計。学校の授業料は除きます」という質問の「対象となっているお子様1人の金額を、月平均でお答えください」に対する回答。数値は「1,000円未満」を500円、「1,000~2,500円未満」を1,750円…「40,000~50,000円未満」を45,000円、「50,000円以上」を55,000円のように換算して算出。

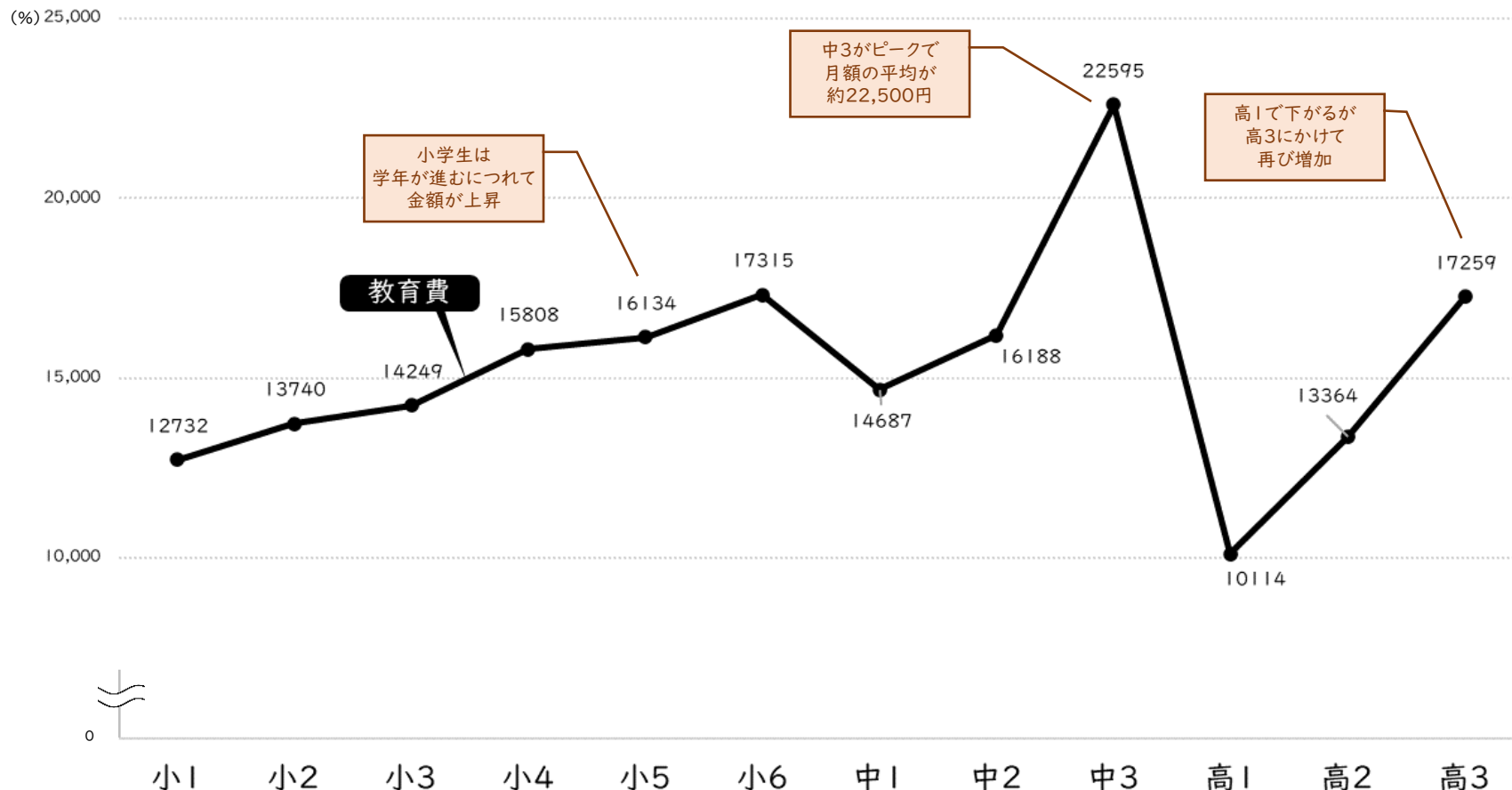
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-23年。

④学年による違い

21

各学校段階では、受験を迎える小6、中3、高3の教育費支出が多い

●図3-4：1人当たりの教育費（学年別）【2023年データ】 ※学校の授業料は除く



*保護者を対象に、「ご家庭の教育費はどれくらいですか。習い事や学習塾の費用、教材費などの合計。学校の授業料は除きます」という質問の「対象となっているお子様1人の金額を、月平均でお答えください」に対する回答。数値は「1,000円未満」を500円、「1,000～2,500円未満」を1,750円…「40,000～50,000円未満」を45,000円、「50,000円以上」を55,000円のように換算して算出。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。

⑤男女、地域による違い

22

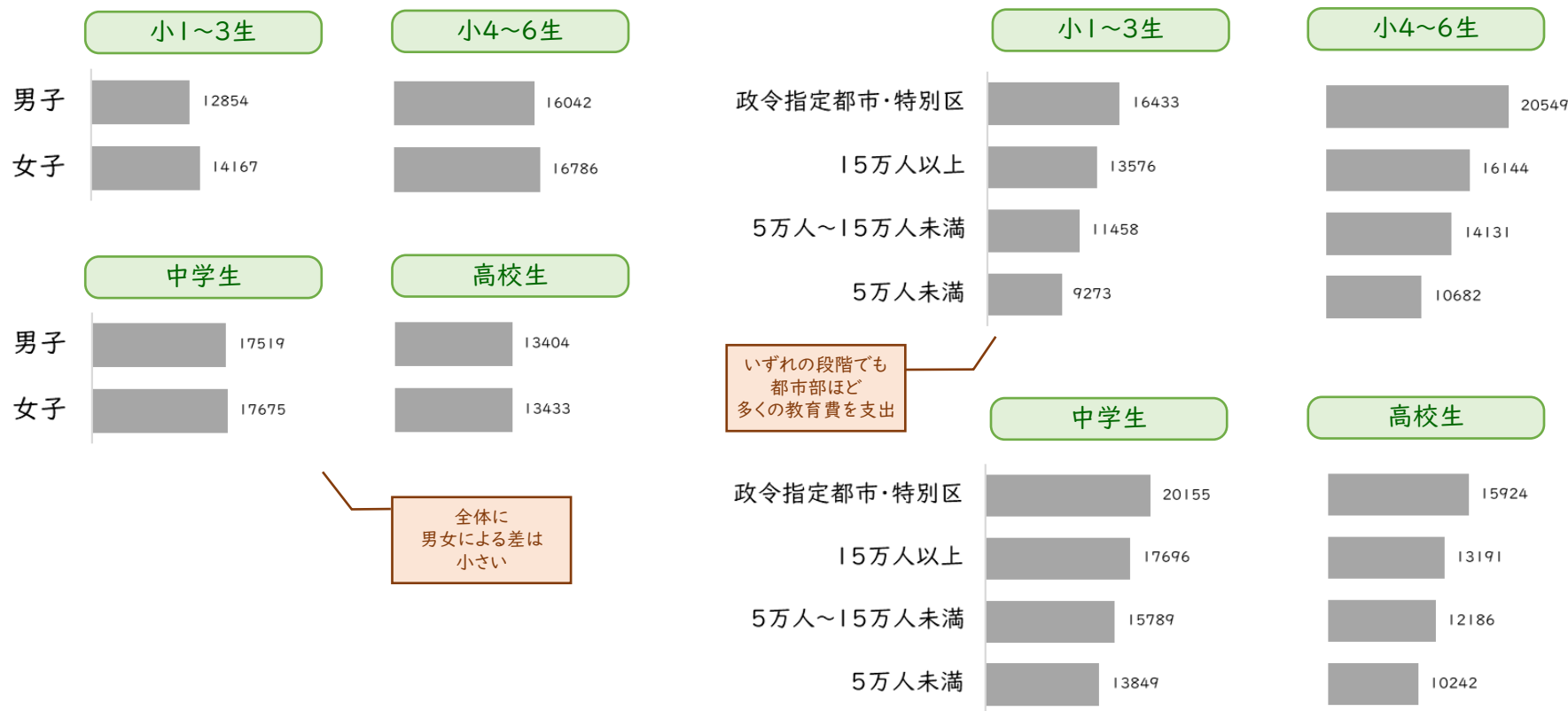
地域別にみると、いずれの学校段階でも都市部ほど教育費の支出が多い

●図3-5：1人当たりの教育費（性別・地域別）【2023年データ】 ※学校の授業料は除く

(%)

性別

地域別



*保護者を対象に、「ご家庭の教育費はどれくらいですか。習い事や学習塾の費用、教材費などの合計。学校の授業料は除きます」という質問の「対象となっているお子様1人の金額を、月平均でお答えください」に対する回答。数値は「1,000円未満」を500円、「1,000~2,500円未満」を1,750円…「40,000~50,000円未満」を45,000円、「50,000円以上」を55,000円のように換算して算出。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。

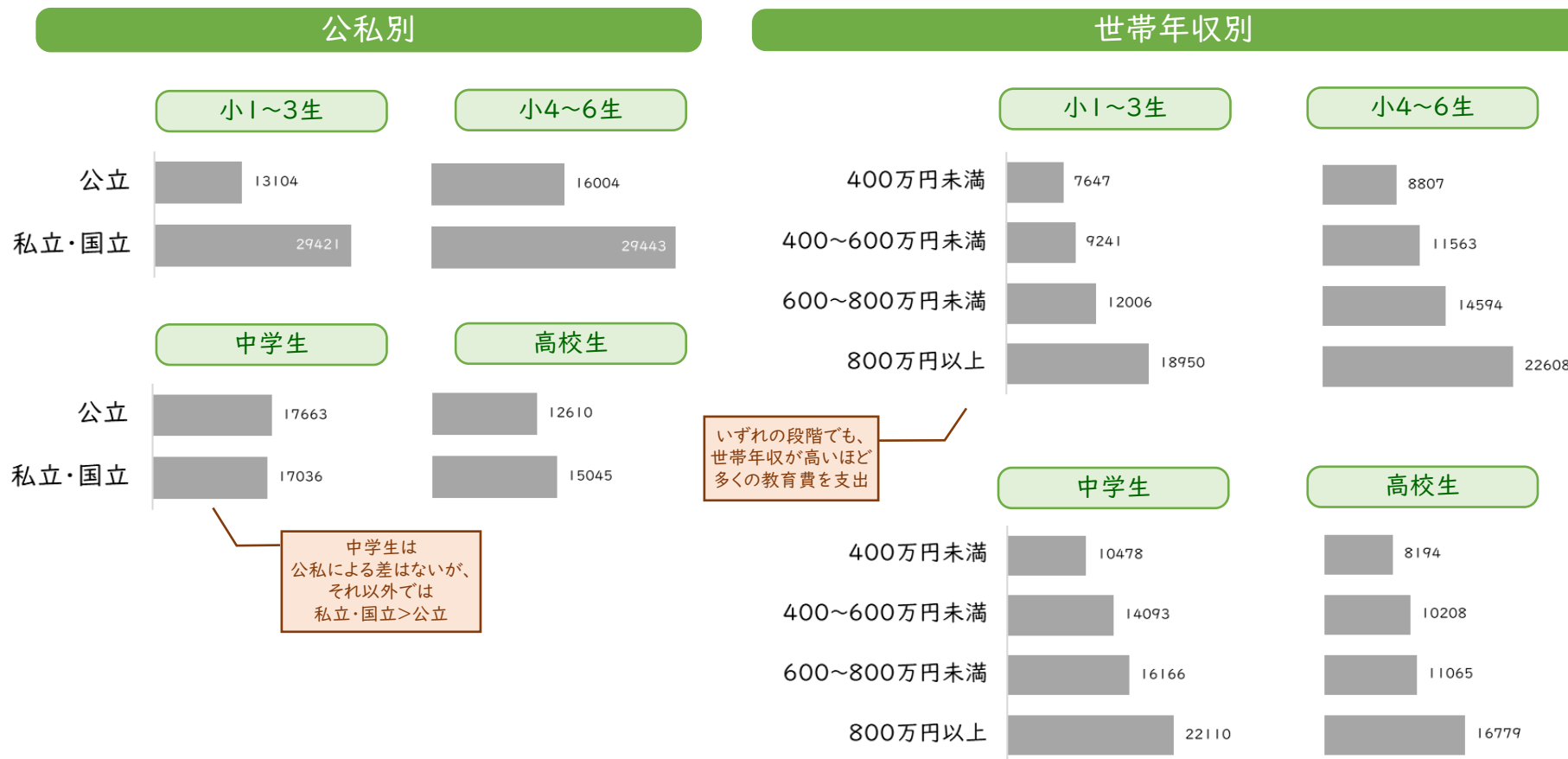
⑥公私、世帯年収による違い

23

いずれの学校段階でも、世帯年収が高いほど教育費の支出が多い

●図3-6：1人当たりの教育費（公私別・世帯年収別）【2023年データ】 ※学校の授業料は除く

(%)



*保護者を対象に、「ご家庭の教育費はどれくらいですか。習い事や学習塾の費用、教材費などの合計。学校の授業料は除きます」という質問の「対象となっているお子様1人の金額を、月平均でお答えください」に対する回答。数値は「1,000円未満」を500円、「1,000～2,500円未満」を1,750円…「40,000～50,000円未満」を45,000円、「50,000円以上」を55,000円のように換算して算出。

*「私立・国立」（中学生・高校生）には、「公立中高一貫校」に進学した者を含む。

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年。

ベネッセ教育総合研究所